

社会福祉法人 はなゆめ

平成29年度
事業報告・決算

平成29年4月1日～平成30年3月31日



本部事務局

2018/05/29

平成 29 年 度 事 業 報 告 書

平成 29 年 4 月 1 日 から 平成 30 年 3 月 31 日 まで
社会福祉法人 はなゆめ

1 事業の実施

当年度、当法人は下記の事業を実施し、障害者の支援を行った。

- 1) 障害者総合支援法に基づく就労継続支援 B 型事業所 4 施設を運営し、障害者の就労支援を行った。

- ・ワークセンター ゆめ 三鷹市下連雀 4-15-18
- ・ワークセンター いくせい工房 三鷹市新川 3-10-8
- ・ワークセンター ゆうゆう舎 三鷹市新川 3-10-8
- ・ワークセンター タートルステップ 三鷹市下連雀 3-8-13

- 2) 障害者総合支援法に基づく生活介護事業 1 施設の運営を行った。

- ・わたしたちのいえ かごめかごめ 三鷹市下連雀 1-8-22
(ワークセンターゆうゆう舎との多機能型)

- 3) 障害者総合支援法に基づく特定相談支援事業・障害児相談支援事業を行った。

- ・障がい者相談センターつなぐ手 三鷹市新川 3-21-19

- 4) 児童福祉法に基づく放課後等デイサービスを行った。

- ・まあーる 三鷹市新川 3-21-19

平成 29 年 度 事 業 報 告 書

平成 29 年 4 月 1 日から 平成 30 年 3 月 31 日まで

社会福祉法人 はなゆめ

1 理事会 審議報告

第 1 回 理事会 平成 29 年 5 月 30 日 駅前福祉住宅 6F

- ・平成 28 年度 事業報告
- ・決算報告
- ・監査報告
- ・役員選任の件

第 2 回 理事会 平成 29 年 6 月 19 日 駅前福祉住宅 6F

- ・理事長及び常務理事の選定の件

第 3 回 理事会 平成 29 年 8 月 29 日 下連雀 HY ビル 3F

- ・ワークセンターいくせい工房
運営規定の件

第 4 回 理事会 平成 29 年 10 月 31 日 下連雀 HY ビル 3F

- ・現金収支の件
- ・まあーる車両購入の件
- ・管理・運営体制の件

第 5 回 理事会 平成 29 年 12 月 19 日 下連雀 HY ビル 3F

- ・育児・介護規定の改正の件
- ・工賃変動積立金の取り崩しの件

第 6 回 理事会 平成 30 年 2 月 27 日 下連雀 HY ビル 3F

- ・給与規定・給与規定細則・給与表の件
- ・特別手当規定の件
- ・退職金規定の件

第7回 理事会 平成30年3月27日 下連雀複合施設3F

- ・29年度 補正予算（案）の件
- ・30年度 事業計画（案）予算（案）の件
- ・施設長の任命の件
- ・人件費積立金の件

2 評議員会審議報告

第1回 評議員会 平成29年6月19日 駅前福祉住宅6F

- ・平成28年度 事業報告
- ・決算報告の件
- ・監査報告の件
- ・役員選任の件

以上

平成29年度 事業報告

平成30年5月29日

開催日	事業内容	会場
4月 3日	辞令交付式・法人始業式	下連雀複合施設
4月25日	法人運営会議	はなはなテラス
5月11日	法人運営会議	はなはなテラス
5月25日	監査(指導検査)	はなはなテラス
5月30日	はなゆめ理事会	駅前福祉住宅6F
6月 8日	育成会地域法人研修会	オリンピックセンター
6月13日	法人運営会議	はなはなテラス
6月19日	評議委員会	駅前福祉住宅6F
6月19日	理事会	駅前福祉住宅6F
6月20日	東京都B型事業所視察	各事業所
6月27日	はなの会総会	下連雀HYビル
7月 7日	育成会都大会	中野ゼロホール
7月19日	夏期職員会議	はなはなテラス
7月26日	法人研修会・懇親会	駅前コミセン
8月19日	第50回三鷹阿波踊り	三鷹駅前通り
8月29日	理事会	下連雀HYビル
9月 5日	法人運営会議	はなはなテラス
9月13日	スポーツの集い	東京体育館
10月31日	理事会	下連雀HYビル
11月11日	新川施設公開	新川
11月25日	下連雀施設公開	下連雀
12月15日	いくせい工房30周年	新川
12月19日	理事会	下連雀HYビル
12月20日	はなの会理事会	下連雀HYビル
1月 4日	仕事始め 職員研修 懇親会	下連雀複合施設
1月18日	新年会	さんさん館
1月20日	育成会新年会	新宿
2月15日	サービス推進会議	下連雀HYビル
2月17・18日	育成会全国大会	千葉
2月27日	理事会	下連雀HYビル
3月15日	サービス推進会議	下連雀HYビル
3月27日	理事会	下連雀HYビル

財務諸表に対する注記（法人全体用）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当なし

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 固定資産の減価償却の方法

・建物、構築物、機械及び装置、車両運搬具、器具及び備品一定額法

(3) 引当金の計上基準

・賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

(4) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

・商品、製品、原材料—最終仕入原価法に基づく原価法

3. 重要な会計方針の変更

該当なし

4. 法人で採用する退職給付制度

中小企業退職金共済に加入している。

5. 法人が作成する財務諸表等と拠点区分、サービス区分

当法人の作成する財務諸表は、以下のとおりになっている。

(1) 法人全体の財務諸表（第1号の1様式、第2号の1様式、第3号の1様式）

(2) 事業区分別内訳表（第1号の2様式、第2号の2様式、第3号の2様式）

(3) 社会福祉事業における拠点区分別内訳表（第1号の3様式、第2号の3様式、第3号の3様式）

(4) 各拠点区分におけるサービス内容

社会福祉事業区分

①法人本部拠点区分

②ワークセンターいくせい工房

ア. 就労継続支援B型事業

③ワークセンターゆめ

ア. 就労継続支援B型事業

④ワークセンターゆうゆう舎

ア. 就労継続支援B型事業

⑤ワークセンタータートルステップ

ア. 就労継続支援B型事業

⑥障害者相談センター つなぐ手

ア. 指定特定相談支援事業

イ. 指定障害児相談支援事業

⑦わたしたちのいえ かごめかごめ

ア. 生活介護事業

⑧まある

ア. 放課後等デイサービス事業

6. 基本財産の増減の内容及び金額

（単位：円）

基本財産の種類	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
定期預金（基本）	10,000,000	0	0	10,000,000
合 計	10,000,000	0	0	10,000,000

7. 会計基準第3章4(4)及び(6)の規定による基本金又は国庫補助金等特別積立金の取崩し

(単位：円)

	前期末残高	当期積立額	当期取崩額	当期末残高
基本金	10,000,000			10,000,000
国庫補助金等特別積立金明細書	4,232,327	2,220,000	1,186,938	5,265,389

該当なし

8. 担保に供している資産

該当なし

9. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他の固定資産			
建物	3,976,992	1,391,946	2,585,046
構築物	257,040	27,846	229,194
機械及び装置	10,777,852	6,196,170	4,581,682
車輛運搬具	14,240,007	8,934,079	5,305,928
器具及び備品	3,125,411	1,822,850	1,302,561
合計	32,377,302	18,372,891	14,004,411

10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高

債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高は、以下のとおりである。

(単位：円)

	債権額	徴収不能引当金の当期末残高	債権の当期末残高
事業未収金	35,761,434	0	35,761,434
未収金	0	0	0
合計	35,761,434	0	35,761,434

11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内容並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、以下のとおりである。

該当なし

12. 関連当事者との取引の内容

(単位：円)

該当なし

13. 重要な偶発債務

該当なし

14. 重要な後発事象

該当なし

15. その他の社会福祉法人の資金収支及び純資産増減の状況並びに資産、負債及び純資産の状態を明らかにするために必要な事項

該当なし

法人単位資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
事業活動による収支	収入					
	就労支援事業収入	29,700,000	26,135,671	3,564,329		
	障害福祉サービス等事業収入	228,287,000	235,956,625	△7,669,625		
	経常経費寄附金収入	690,000	364,000	326,000		
	受取利息配当金収入	0	18,403	△18,403		
	その他の収入	0	123,200	△123,200		
	事業活動収入計 (1)	258,677,000	262,597,899	△3,920,899		
事業活動による収支	支出					
	人件費支出	163,490,000	148,985,973	14,504,027		
	事業費支出	16,950,000	20,043,308	△3,093,308		
	事務費支出	40,359,952	40,217,051	142,901		
	就労支援事業支出	29,600,000	26,750,841	2,849,159		
	事業活動支出計 (2)	250,399,952	235,997,173	14,402,779		
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	8,277,048	26,600,726	△18,323,678		
施設整備等による収支	収入					
	施設整備等補助金収入	0	2,220,000	△2,220,000		
		施設整備等収入計 (4)	0	2,220,000	△2,220,000	
	支出					
	固定資産取得支出	0	3,164,700	△3,164,700		
	ファイナンス・リース債務の返済支出	210,000	95,355	114,645		
	施設整備等支出計 (5)	210,000	3,260,055	△3,050,055		
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△210,000	△1,040,055	830,055		
その他の活動による収支	収入					
	積立資産取崩収入	0	153,600	△153,600		
		その他の活動収入計 (7)	0	153,600	△153,600	
	支出					
	その他の活動による支出	0	10,520	△10,520		
	その他の活動支出計 (8)	0	10,520	△10,520		
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	143,080	△143,080		
	予備費支出 (10)	0	—	0		
		△0				
	当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	8,067,048	25,703,751	△17,636,703		
	前期末支払資金残高 (12)	0	55,224,038	△55,224,038		
	当期末支払資金残高 (11)+(12)	8,067,048	80,927,789	△72,860,741		

法人単位事業活動計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益			
	就労支援事業収益	26,135,671	30,361,070	△4,225,399
	障害福祉サービス等事業収益	235,956,625	214,595,246	21,361,379
	経常経費寄附金収益	364,000	180,000	184,000
	サービス活動収益計(1)	262,456,296	245,136,316	17,319,980
	費用			
	人件費	149,350,639	162,787,514	△13,436,875
	事業費	20,043,308	17,485,867	2,557,441
	事務費	40,217,051	40,025,884	191,167
	就労支援事業費用	28,034,397	30,436,233	△2,401,836
減価償却費	2,441,172	2,072,919	368,253	
国庫補助金等特別積立金取崩額	△920,970	△1,275,666	354,696	
サービス活動費用計(2)	239,165,597	251,532,751	△12,367,154	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	23,290,699	△6,396,435	29,687,134	
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	18,403	32,035	△13,632
	その他のサービス活動外収益	123,200	297,232	△174,032
	サービス活動外収益計(4)	141,603	329,267	△187,664
	費用			
その他のサービス活動外費用	0	6,603	△6,603	
サービス活動外費用計(5)	0	6,603	△6,603	
サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	141,603	322,664	△181,061	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	23,432,302	△6,073,771	29,506,073	
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	2,220,000	2,520,012	△300,012
	特別収益計(8)	2,220,000	2,520,012	△300,012
	費用			
国庫補助金等特別積立金積立額	2,220,000	2,520,012	△300,012	
特別費用計(9)	2,220,000	2,520,012	△300,012	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	0	0	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	23,432,302	△6,073,771	29,506,073	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	62,397,699	71,161,470	△8,763,771
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	85,830,001	65,087,699	20,742,302
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	153,600	500,000	△346,400
	その他の積立金積立額(16)	0	3,190,000	△3,190,000
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	85,983,601	62,397,699	23,585,902

財 産 目 録

平成 30年 3月 31日 現在

貸借対照表科目		場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
(単位：円)							
I 資産の部							
1 流動資産							
現金預金							
現金							
	本部			運転資金として	—	—	54,413
	ワークセンターいくせい工房			運転資金として	—	—	81,298
	ワークセンターゆめ			運転資金として	—	—	34,995
	つなぐ手			運転資金として	—	—	17,241
	ワークセンターゆうゆう舎			運転資金として	—	—	94,076
	ワークセンタータートルステップ			運転資金として	—	—	50,288
	わたしたちのいえ かごめかごめ			運転資金として	—	—	59,330
	まあーる			運転資金として	—	—	58,212
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 0	—	運転資金として	—	—	5,521,012
	4 1 6						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 6	—	運転資金として	—	—	311,654
	2 2 6						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 6	—	運転資金として	—	—	1,778,999
	2 0 0						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 6	—	運転資金として	—	—	2,846
	2 1 8						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 0	—	運転資金として	—	—	4,611,112
	3 9 3						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 0	—	運転資金として	—	—	252,264
	4 0 8						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 4	—	運転資金として	—	—	5,512,369
	9 1 5						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 4	—	運転資金として	—	—	140,653
	9 2 3						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 5	—	運転資金として	—	—	1,860,643
	0 1 8						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 4	—	運転資金として	—	—	3,169,179
	8 9 2						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 4	—	運転資金として	—	—	172,809
	9 0 7						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 7	—	運転資金として	—	—	5,112,332
	7 2 7						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 1 0 7	—	運転資金として	—	—	3,370,428
	7 3 5						
	西武信用金庫 三鷹支店	1 0 7 9	—	積立資産 利息	—	—	90
	6 4 1						

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
	西武信用金庫 三鷹支店 1107	—	運転資金として	—	—	7,157,338
	西武信用金庫 三鷹支店 1107	—	運転資金として	—	—	96,708
	西武信用金庫 三鷹支店 1107	—	積立資産 利息	—	—	374
	西武信用金庫 三鷹支店 1107	—	積立資産 利息	—	—	449
	西武信用金庫 三鷹支店 1107	—	運転資金として	—	—	207,618
	西武信用金庫 三鷹支店 1107	—	運転資金として	—	—	7,356,844
	西武信用金庫 三鷹支店 1107	—	運転資金として	—	—	84,640
	西武信用金庫 三鷹支店 1108	—	運転資金として	—	—	598,115
	西武信用金庫 三鷹支店 1113	—	運転資金として	—	—	5,366,157
	西武信用金庫 三鷹支店 1113	—	運転資金として	—	—	158,305
	西武信用金庫 三鷹支店 1113	—	運転資金として	—	—	2,236,320
	J A 東京むさし 中仙川支店 00	—	積立資産 利息	—	—	820
	J A 東京むさし 中仙川支店 00	—	積立資産 利息	—	—	614
	J A 東京むさし 中仙川支店 00	—	運転資金として	—	—	1,522,081
	J A 東京むさし 中仙川支店 00	—	積立資産 利息	—	—	5,948
	三菱東京UFJ銀行 三鷹支店 0	—	積立資産 利息	—	—	26,054
定期預金	西武信用金庫 三鷹支店 0010	—	積立資産 利息	—	—	5,619
	西武信用金庫 三鷹支店 0010	—	積立資産 利息	—	—	57,090,247
	小計					
事業未収金	ワークセンターいくせい工房	—	訓練等給付費 2, 3月分	—	—	6,363,482
	ワークセンターゆめ	—	訓練等給付費 2, 3月分	—	—	6,200,494
	つなぐ手	—	計画相談支援給付費 2, 3月分	—	—	795,630
	つなぐ手	—	障害児相談支援給付費 2, 3月分	—	—	219,924
	ワークセンターゆうゆう舎	—	訓練等給付費 2, 3月分	—	—	6,534,842
	ワークセンタートルステップ	—	訓練等給付費 2, 3月分	—	—	6,363,118
	わたしたちのいえ かごめかごめ	—	訓練等給付費 2, 3月分	—	—	3,531,620
	まある	—	介護給付費 2, 3月分	—	—	3,418,227
	ワークセンターいくせい工房	—	障害児通所給付費 2, 3月分	—	—	263,123
	ワークセンターゆめ	—	利用者作業代	—	—	722,227
	ワークセンターゆめ	—	利用者作業代	—	—	777,699
	ワークセンターゆうゆう舎	—	利用者作業代	—	—	292,974
	ワークセンタートルステップ	—	利用者作業代	—	—	62,468
	わたしたちのいえかごめかごめ	—	利用者作業代	—	—	

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
商品・製品	まあーる	—	利用者負担金	—	—	215,606
	ワークセンターいくせい工房 ワークセンターゆめ	—	製品 製品	—	—	35,761,434
原材料	ワークセンターゆめ わたしたちのいえかごめかごめ	—	製品材料 製品材料	—	—	93,400 42,000
		—	小計	—	—	135,400
流動資産合計						
2 固定資産						93,303,643
(1) 基本財産						
定期預金	三菱東京UFJ銀行 三鷹支店013 3386	—		—	—	10,000,000
基本財産合計						
(2) その他の固定資産						
建物	(わたしたちのいえ かごめかごめ) 東京都三鷹市下連雀1-8-22 下連雀 門扉 プレス機用 他9件 トヨタ ハイエース 他8件 ユクヨ ロックー 他16件 西武信用金庫 出資金 J A 東京むさし 中仙川支店 普通 預金 0044716 西武信用金庫 三鷹支店 定期預金 0010001 西武信用金庫 三鷹支店 普通預金 1079641 西武信用金庫 三鷹支店 普通預金 1107939	2014年度	介護用の内装設備 新川作業所用 就労支援事業の作業用 利用者の送迎用 作業場の事業用 利用者の工賃の補填に備えるため 利用者の工賃の補填に備えるため 利用者の工賃の補填に備えるため 利用者の工賃の補填に備えるため	3,976,992 257,040 10,777,852 14,240,007 3,125,411	1,391,946 27,846 6,196,170 8,934,079 1,822,850	2,585,046 229,194 4,581,682 5,305,928 1,302,561 10,000
設備等整備積立資産	J A 東京むさし 中仙川支店 普通 預金 0044705 西武信用金庫 三鷹支店 定期預金 0010001 西武信用金庫 三鷹支店 普通預金 1079641 西武信用金庫 三鷹支店 普通預金 1107921	—	設備の更新等に備えるため 設備の更新等に備えるため 設備の更新等に備えるため 設備の更新等に備えるため	—	—	5,062,450 1,700,530 2,268,975 700,000 600,000
施設整備積立金 差入保証金	西武信用金庫 三鷹支店 定期預金 0010001 (株)ハウジング・エス (有)ITO	—	新規の固定資産の取得に備えるため 建物保証金 建物保証金	—	—	5,269,505 50,000,000 300,000 2,500,000 2,800,000
			小計			

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
その他の固定資産		—	車両リサイクル預託金	—	—	31,940
	その他の固定資産合計					77,178,306
	固定資産合計					87,178,306
	資産合計					180,481,949
II 負債の部						
I 流動負債						
事業未払金	職員 3月分給与 利用者 3月分工賃 社会保険料等	— — —		— — —	— — —	2,362,683 999,860 6,868,720
その他の未払金 預り金 職員預り金	三鷹市 補助金返還金 報酬等源泉所得税 給与等源泉所得税 預り住民税	— — — —	小計	— — — —	— — — —	10,231,263 1,072,000 10,340 277,489 332,800
賞与引当金		—	小計	—	—	610,289
	流動負債合計	—		—	—	6,977,112
	流動負債合計					18,901,004
2 固定負債						
	固定負債合計					0
	負債合計					18,901,004
	差引純資産					161,580,945

ワークセンターゆめ事業報告 2017（平成29年度）

（就労継続支援B型事業所）

1. 支援方針

- ・ 社会生活を営むのに必要な生活習慣の習得やスキル向上に向けた支援を行います。
- ・ 作業（就労）活動の機会を提供し、利用者の能力や特性に応じた作業支援を行い工賃（給料）を支払います。
- ・ 利用者の人権と意思を尊重し、健康で豊かな地域生活が送れるよう支援します。
- ・ 働く場、社会生活体験の場としてのゆめの機能を充実させていきます。

2. 事業の総括

平成29年度は22名でスタートし、年度途中で1名が送迎を希望し、かごめかごめに移動。新規の利用者が2名入所し23名となった。平均年齢は37.8歳。微々たるものではあるが、年々平均年齢は上昇し、20代の利用者が半数近く、40代以上の利用者が半分以上と分布が分かれてしまっている。高齢化の影響は作業面・健康面に表れてきているので、作業面では稼働率を下げながら利用者が安定して過ごせるように取り組んでいる。健康面を配慮し、毎月のバイタルチェック、健康状態のヒアリングを行うことで、健康管理や食生活対するを意識する機会を設けている。

また、統合失調症や形成の手術を行うなど長期の入院をする利用者が3名と全員が出席できる日が少なくなっている。

一泊旅行では利用者旅行実行委員会を立ち上げ、一泊旅行の企画から内容までを利用者主体で実施を行い概ね好評を得ることが出来た。

年度当初の目標に沿った継続的で安定した活動を行うことが出来た。

3. 重点項目に対する結果

作業支援においては大きな変更はなく、各自得意な作業を安定して取り組めるようになっているので、作業種やチャレンジの機会の見直しをはかり、個々人が挑戦する事や出来る事が増える喜びを感じられるよう、可能性を模索した。

生活支援においては、行事や土曜開所を通じて、社会性や自主性を高めて豊かな地域生活を送れるように努めた。また、近隣のコミュニティセンターなど社会資源を有効活用し地域との関わりと理解を深める取り組みに努めた。利用者本人の人権・意思を大切にすべく、面談以外にも日々の話し合いをおこない、自己決定のチャンスを伺う取り組みをおこなった。

また、ふまネット体操という介護予防の体操を余暇として取り入れ好評を得ている。

4. 利用者の状況

（平成30年3月31日現在）

定員	20名	利用者実数	23名	退所1名	入所2名
----	-----	-------	-----	------	------

* 年齢・性別構成

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	計	平均年齢
男性	0	5	3	3	1	0	1	13	37.8
女性	0	4	0	3	1	1	0	9	37.8
計	0	9	3	6	2	1	1	22	37.8

* 障害の状況・愛の手帳

	1度	2度	3度	4度	なし	計
男性		4	2	7	0	13
女性		1	3	5	0	9
計		5	5	12	0	22

5. 職員の構成

管理者	1名
目標工賃達成指導員	1名
職業指導員	1名
生活支援員	2名
その他の職員	1名

6. 平成29年度運営実績 ()は28年度実績

開所日数：258日(259日) 年間延べ利用人数：4810人(4,833人)

一日平均利用者数：18.6人(18.6人) 月平均工賃：24,535円 時給307円(327円)

(1) 作業内容

- ① ダイレクトメール封入・封緘・宛名貼
- ② 下連雀複合施設の管理・清掃
- ③ 少年雑誌の付録セット作業
- ④ オリジナル刺繍タオル・ハンカチの製作販売
- ⑤ 資源ごみ回収
- ⑥ 宅配飲食店の箸醤油セット作業
- ⑦ タウン誌ポスティング

(2) 行事

月	行事
4月	誕生日会 ラフターヨガ 避難訓練 土曜開所(サンドイッチ作り・鯉のぼりストラップ作り・ちゃんこうどん作り)
5月	誕生日会 ラフターヨガ 元気創造プラザ見学 土曜開所(茶道教室・マイ傘づくり)
6月	誕生日会 ラフターヨガ 桜桃忌販売会
7月	健康診断 ラフターヨガ 収穫野菜調理実習 土曜開所(カリンバ(楽器)づくり・津軽三味線鑑賞・ハヤシライス作り)
8月	誕生日会 三鷹阿波踊り ラフターヨガ 土曜開所(映画鑑賞)
9月	スポーツのつどい 一泊旅行 ラフターヨガ 土曜開所(応援グッズづくり)
10月	誕生日会 ラフターヨガ 秋のレクリエーション 土曜開所(万華鏡作り・秋の味覚ランチ・ぼっふと共催イベント)
11月	誕生日会 ラフターヨガ 施設公開 歯科講習会 冬野菜調理実習 避難訓練 土曜開所(芋煮作り・クリスマスリースづくり)
12月	誕生日会 ラフターヨガ ふまネット体操 忘年会 土曜開所(アロマキャンドルづくり・シチュー作り)
1月	初詣 ゆめ新年会 法人新年会 ラフターヨガ ふまネット体操 土曜開所(大漁旗づくり・書初めと昔遊び)
2月	誕生会 ラフターヨガ ふまネット体操 バレンタインクッキング 豆まき 日帰り旅行 土曜開所(旅行まとめ新聞づくり・お雛様タペストリーづくり)
3月	誕生日会 ラフターヨガ ふまネット体操 送別会 土曜開所(ちらし寿司・デザート作り)

(3) 家族会など

家族会：5・10月に開催

利用者面談：毎月実施 家族面談(5/24～6/14)

個別の要望に応じて連絡帳交換

事業所より毎月のお便り「ゆめだより」や「号外」などで情報発信

(4) 職員会議

毎朝：利用者の出欠や状況確認、当日の作業手順や車両の確認、会議の報告

毎夕：利用者の状況・支援について、作業の進捗確認と翌日への申し送り

(5) 実習生受け入れ

三鷹一中 2名 府中けやきの森 6名 保育士実習1名 計9名

鷹ロコネットワーク大楽実習、他見学受け入れ

(6) 職員研修

育成会全国大会・育成会地域法人協議会研修・東社協研修・法人研修

(7) 災害対策について

1. 災害カードの変更等確認
2. 避難訓練

ワークセンター ゆめ拠点区分 事業活動計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収 益	就労支援事業収益	8,042,553	9,705,237	△1,662,684
	就労支援事業収入	8,020,015	9,705,237	△1,685,222
	就労支援事業収入(内部取引)	22,538	0	22,538
	障害福祉サービス等事業収益	42,258,558	41,631,513	627,045
	自立支援給付費収益	37,323,838	37,025,234	298,604
	訓練等給付費収益	37,323,838	37,025,234	298,604
	利用者負担金収益	104,819	18,600	86,219
	その他の事業収益	4,829,901	4,587,679	242,222
	補助金事業収益	4,546,903	4,380,000	166,903
	その他の事業収益	282,998	207,679	75,319
サービス活動収益計(1)		50,301,111	51,336,750	△1,035,639
サ ー ビ ス 活 動 増 減 の 部 費 用	人件費	19,636,482	21,653,454	△2,016,972
	職員給料	12,082,679	13,523,490	△1,440,811
	職員賞与	1,788,222	1,681,165	107,057
	賞与引当金繰入	872,139	857,778	14,361
	非常勤職員給与	1,934,995	2,447,309	△512,314
	退職給付費用	380,000	480,000	△100,000
	法定福利費	2,578,447	2,663,712	△85,265
	事業費	3,025,281	3,094,170	△68,889
	保健衛生費	71,588	83,863	△12,275
	教養娯楽費	861,410	764,990	96,420
	日用品費	0	63,863	△63,863
	本人支給金	968,000	1,010,370	△42,370
	水道光熱費	678,485	315,030	363,455
	消耗器具備品費	70,553	45,878	24,675
	保険料	58,700	204,560	△145,860
	賃借料	243,390	239,400	3,990
	教育指導費	59,269	48,994	10,275
	車輛費	13,886	317,222	△303,336
	事務費	2,728,273	2,549,715	178,558
	福利厚生費	0	94,470	△94,470
	旅費交通費	2,742	432	2,310
	研修研究費	48,746	104,788	△56,042
	事務消耗品費	182,281	483,827	△301,546
	修繕費	93,200	60,338	32,862
	通信運搬費	138,788	133,442	5,346
	手数料	21,384	25,618	△4,234
	土地・建物賃借料	1,532,388	1,588,176	△55,788
	租税公課	15,800	30,600	△14,800
	保守料	126,684	4,860	121,824
	渉外費	12,160	17,440	△5,280
	諸会費	4,100	0	4,100
	雑費	550,000	5,724	544,276
	雑費	550,000	5,724	544,276
	就労支援事業費用	9,018,542	9,821,457	△802,915
	就労支援事業販売原価	8,562,749	9,162,755	△600,006
	期首製品(商品)棚卸高	29,100	0	29,100
	当期就労支援事業製造原価	8,575,649	9,191,855	△616,206
	期末製品(商品)棚卸高	△42,000	△29,100	△12,900
	就労支援事業販管費	455,793	658,702	△202,909
	減価償却費	523,859	529,477	△5,618
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△0	△149,904	149,904
	サービス活動費用計(2)		34,932,437	37,498,369

ワークセンター ゆめ拠点区分 事業活動計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)		15,368,674	13,838,381	1,530,293
サービス活動外増減の部	収益			
	受取利息配当金収益	1,870	2,630	△760
	その他のサービス活動外収益	36,500	30,500	6,000
	受入研修費収益	5,000	0	5,000
	雑収益	31,500	30,500	1,000
	雑収益	31,500	30,500	1,000
	サービス活動外収益計 (4)	38,370	33,130	5,240
費用				
	サービス活動外費用計 (5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	38,370	33,130	5,240
経常増減差額 (7)=(3)+(6)		15,407,044	13,871,511	1,535,533
特別増減の部	収益			
	施設整備等補助金収益	0	149,904	△149,904
	施設整備等補助金収益	0	149,904	△149,904
	特別収益計 (8)	0	149,904	△149,904
	費用			
	国庫補助金等特別積立金積立額	0	149,904	△149,904
拠点区分間繰入金費用	18,000,000	13,000,000	5,000,000	
	特別費用計 (9)	18,000,000	13,149,904	4,850,096
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	△18,000,000	△13,000,000	△5,000,000
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		△2,592,956	871,511	△3,464,467
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額 (12)	17,329,862	17,958,351	△628,489
	当期末繰越活動増減差額 (13)=(11)+(12)	14,736,906	18,829,862	△4,092,956
	基本金取崩額 (14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)	0	0	0
	その他の積立金積立額 (16)	0	1,500,000	△1,500,000
	工賃変動積立金積立額	0	400,000	△400,000
設備等整備積立金積立額	0	1,100,000	△1,100,000	
次期繰越活動増減差額 (17)=(13)+(14)+(15)-(16)		14,736,906	17,329,862	△2,592,956

ワークセンター ゆめ拠点区分 貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産						
現金預金	15,006,798	16,176,150	△1,169,352	1,879,804	1,485,928	393,876
事業未収金	7,554,279	5,755,280	1,798,999	885,384	268,139	617,245
商品・製品	6,922,721	7,672,542	△749,821	50,000	183,450	△133,450
原材料	42,000	29,100	12,900	454	0	454
拠点区分間貸付金	49,377	72,000	△22,623	71,827	176,561	△104,734
固定資産	438,421	2,647,228	△2,208,807	872,139	857,778	14,361
基本財産	6,378,887	7,408,615	△1,029,728	0	0	0
その他の固定資産	0	0	0	1,879,804	1,485,928	393,876
	6,378,887	7,408,615	△1,029,728	負債の部合計		
機械及び装置	1,008,205	1,514,074	△505,869	純 資 産 の 部		
車輛運搬具	590,894	1,086,670	△495,776	0	0	0
器具及び備品	3	28,086	△28,083	0	0	0
工賃変動積立資産	2,500,000	2,500,000	0	4,768,975	4,768,975	0
設備等整備積立資産	2,268,975	2,268,975	0	2,500,000	2,500,000	0
長期前払費用	0	10,810	△10,810	2,268,975	2,268,975	0
その他の固定資産	10,810	0	10,810	14,736,906	17,329,862	△2,592,956
				△2,592,956	871,511	△3,464,467
				純資産の部合計		
	21,385,685	23,584,765	△2,199,080	19,505,881	22,098,837	△2,592,956
				負債及び純資産の部合計		
				21,385,685	23,584,765	△2,199,080

ワークセンター ゆめ拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	就労支援事業販管費支出	200,000	455,793	△255,793	
	事業活動支出計(2)	38,885,000	33,878,625	5,006,375	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	12,910,000	16,460,856	△3,550,856	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	拠点区分間繰入金支出	0	18,000,000	△18,000,000	
	その他の活動支出計(8)	0	18,000,000	△18,000,000	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	△18,000,000	18,000,000	
	予備費支出(10)	0	-	0	
		△0			
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	12,910,000	△1,539,144	14,449,144	
	前期末支払資金残高(12)	0	15,446,900	△15,446,900	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	12,910,000	13,907,756	△997,756	

ワークセンターいくせい工房事業報告 2017(H. 29)年度 (就労継続支援B型事業所)

1. 支援方針

- ・生産活動の収入増を目指します。
- ・労働能力の開発及び能力に応じた作業を支援します。
- ・個別支援計画に基づいた支援を行います。
- ・適切な健康管理を行います。
- ・地域との関わりを大切にします。
- ・基本的な日常生活の習慣を支援します。
- ・職員の連携強化に努めます。

2. 事業の総括

就労継続支援B型として利用者の皆さんに働く場を提供するとともに、知識及び能力の向上のために必要な支援を行いました。

本年度は男性1名入所し、男性1名女性1名が退所しました。退所された方は高齢のため通所が困難になった方と遠方のグループホームに入ったことが理由です。年度末には男性18名・女性3名という利用者構成になりました。

生産活動では、井の頭公園の清掃と資源ごみ回収の外作業が収入の大きな部分を占めています。利用者の高齢化などにより外作業では一部の利用者に負担が重なってしまうので回収個所を減らしています。室内作業は事務用封筒や自主製品等の作成に加えて、チラシ折りの作業をするようになりました。自主製品は東京都が進めている販売事業の「KURUMIRU(くるみる)」での販売が好調で売り上げを伸ばしています。工賃1人当りの月平均は、15,855円で前年度を下回りました。

余暇活動は、毎月行っているエクササイズ・手話の会・音楽の会の活動に加えて土曜開所において色々なレクリエーションを行い、それぞれの楽しみを見出しながら活動しています。

3. 重点目標に対する結果

(1) 労働能力を充分発揮できる環境を整備し、能力に応じた作業支援

新しく利用を始めた方々が、作業を通して社会参加できる環境の整備を行い、その人に合った作業能力の開発に努めました。

(2) 基本的な日常生活の習慣を養う。

利用者の皆さんが朝9時からの活動に合わせて通所し、毎日の生活のリズムを壊すことなく活動することができました。

(3) 適切な健康管理

年1回の健康診断・歯科検診、毎月の体重測定や昼食後の歯磨きチェックを行い、健康維持・増進を目指しました。

(4) 作業を通して、地域との交流をはかる。

資源ごみ回収や公園清掃などで地域の人たちへの挨拶等を通しての交流や施設公開を通して事業所・自主製品の紹介を行いました。

4. 利用者の状況

平成30年3月31日現在

定員	20名	利用者実数	21名	退所	2名	入所	1名
----	-----	-------	-----	----	----	----	----

* 年齢・性別構成

	30歳未満	30代	40代	50代	60才以上	計	平均年齢
男性	5	4	4	3	2	18	40.4才
女性	0	2	1	0	0	3	38.7才
計	5	6	5	3	2	21	40.5才

* 障害の状況・愛の手帳

	1度	2度	3度	4度	なし	計
男性		8	7	3		18
女性			3			3
計		8	10	3		21

*生活状況

グループホーム利用者：5名（男） 単身者：0名

5. 職員の構成

管理者	1名
職業指導員	2名
生活支援員	2名
その他の職員	2名

6. 平成29年度運営実績 () 内前年度

開所日数：257日 (258) 年間延べ利用人数：5,199人 (5,466)
 1日平均利用者数：20.2人(21.1) 月平均工賃1人 15,855円(17,242)

(1) 作業内容

- ① 公園清掃（井の頭公園） ②福祉住宅等清掃 ③自主製品
 ④三鷹市資源ゴミ回収 ⑤書類封筒の作成 ⑥OA機器の部品封入
 ⑥電線リサイクル ⑦ビデオテープリサイクル ⑧ダイレクトメール

(2) 行事

月	行事
4月	保護者会 健康診断 お花見 土曜開所日 (2回)
5月	食事会 土曜開所日 (2回)
6月	日帰り旅行
7月	七夕 保護者会
8月	三鷹阿波踊り 土曜開所日 (1回)
9月	スポーツの集い 土曜開所日 (1回)
10月	宿泊旅行 秋のレクリエーション 保護者会 土曜開所日 (2回)
11月	施設公開 避難訓練 土曜開所日 (2回)
12月	30周年イベント 仕事納め 土曜開所日 (1回)
1月	仕事始め 新年会 土曜開所日 (2回)
2月	土曜開所 (1回)
3月	お花見 年度末慰労会 土曜開所日 (1回)

月1回手話の会、音楽の会、エクササイズ 誕生日会、季節の行事

(3) 家族会など

家族会：4・7・10月に開催、3月利用者・家族個人面談
 個別要望に応じ連絡帳の利用 作業所より通知等でのお知らせ随時

(4) 職員会議

毎朝・夕

(5) 実習生受け入れ

府中けやきの森学園 2名

(6) 職員研修

はなグループ3、育成会8、他2

(7) 災害対策

- ・防災訓練 6月 自主訓練
 11月 消防署との訓練 火事
- ・災害対策マニュアル
- ・災害緊急カード
- ・災害備蓄品 災害用として、手動発電ライト・ラジオなどの物品や飲料水
 ペットボトル、非常食を備蓄している。

いくせい工房 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収 入	就労支援事業収入	6,000,000	6,159,040	△159,040	
	就労支援事業収入	6,000,000	5,904,488	95,512	
	就労支援事業収入(内部取引)	0	254,552	△254,552	
	障害福祉サービス等事業収入	47,396,000	46,065,715	1,330,285	
	自立支援給付費収入	42,000,000	40,133,652	1,866,348	
	訓練等給付費収入	42,000,000	40,133,652	1,866,348	
	その他の事業収入	5,396,000	5,932,063	△536,063	
	補助金事業収入	5,396,000	5,656,000	△260,000	
	その他の事業収入	0	276,063	△276,063	
	受取利息配当金収入	0	257	△257	
	その他の収入	0	25,500	△25,500	
	受入研修費収入	0	10,000	△10,000	
	雑収入	0	15,500	△15,500	
	雑収入	0	15,500	△15,500	
	事業活動収入計(1)		53,396,000	52,250,512	1,145,488
支 出	人件費支出	27,000,000	22,778,992	4,221,008	
	職員給料支出	14,500,000	10,733,648	3,766,352	
	職員賞与支出	4,200,000	2,430,500	1,769,500	
	非常勤職員給与支出	4,700,000	6,586,486	△1,886,486	
	退職給付支出	600,000	408,340	191,660	
	法定福利費支出	3,000,000	2,620,018	379,982	
	事業費支出	2,810,000	3,315,474	△505,474	
	保健衛生費支出	100,000	100,392	△392	
	教養娯楽費支出	300,000	1,007,466	△707,466	
	本人支給金支出	1,110,000	1,000,000	110,000	
	水道光熱費支出	550,000	768,539	△218,539	
	消耗器具備品費支出	100,000	63,637	36,363	
	保険料支出	300,000	62,465	237,535	
	賃借料支出	50,000	74,406	△24,406	
	教育指導費支出	100,000	71,892	28,108	
	車輛費支出	200,000	57,057	142,943	
	雑支出	0	109,620	△109,620	
	事務費支出	4,500,000	4,893,530	△393,530	
	福利厚生費支出	200,000	18,474	181,526	
	旅費交通費支出	100,000	3,400	96,600	
	研修研究費支出	105,000	12,208	92,792	
	事務消耗品費支出	352,048	490,838	△138,790	
	修繕費支出	180,000	8,381	171,619	
	通信運搬費支出	200,000	203,080	△3,080	
	会議費支出	10,000	0	10,000	
	手数料支出	50,000	24,668	25,332	
	土地・建物賃借料支出	3,152,952	3,194,952	△42,000	
	租税公課支出	10,000	11,100	△1,100	
	保守料支出	70,000	157,388	△87,388	
	渉外費支出	40,000	29,581	10,419	
	諸会費支出	30,000	15,580	14,420	
	雑支出	0	723,880	△723,880	
	雑支出	0	723,880	△723,880	
就労支援事業支出	6,000,000	5,243,373	756,627		
就労支援事業販売原価支出	5,648,000	4,512,147	1,135,853		
就労支援事業製造原価支出	5,648,000	4,512,147	1,135,853		
就労支援事業販管費支出	352,000	731,226	△379,226		
事業活動支出計(2)		40,310,000	36,231,369	4,078,631	

いくせい工房 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)		13,086,000	16,019,143	△2,933,143	
施設整備等による収支	収				
	入				
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	ファイナンス・リース債務の返済支出	0	42,120	△42,120	
	施設整備等支出計 (5)	0	42,120	△42,120	
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)		0	△42,120	42,120	
その他の活動による収支	収				
	入				
	その他の活動収入計 (7)	0	0	0	
	拠点区分間繰入金支出	0	13,000,000	△13,000,000	
	その他の活動支出計 (8)	0	13,000,000	△13,000,000	
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)		0	△13,000,000	13,000,000	
予備費支出 (10)		0	-	0	
		△0			
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		13,086,000	2,977,023	10,108,977	
前期末支払資金残高 (12)		0	10,284,108	△10,284,108	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		13,086,000	13,261,131	△175,131	

いくせい工房 貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	14,540,847	11,314,408	3,226,439	流動負債	2,058,455	2,194,540	△136,085
現金預金	7,182,428	3,259,309	3,923,119	事業未払金	1,069,422	795,080	274,342
事業未収金	6,626,605	7,268,852	△642,247	その他の未払金	50,000	69,310	△19,310
商品・製品	93,400	0	93,400	1年以内返済予定リース債務	0	84,240	△84,240
拠点区分間貸付金	638,414	786,247	△147,833	職員預り金	66,894	165,910	△99,016
				賞与引当金	872,139	1,080,000	△207,861
固定資産	3,374,114	3,806,443	△432,329	固定負債	0	126,360	△126,360
基本財産	0	0	0	リース債務	0	126,360	△126,360
その他の固定資産	3,374,114	3,806,443	△432,329	負債の部合計	2,058,455	2,320,900	△262,445
建物	0	4,028	△4,028	純 資 産 の 部			
構築物	229,194	254,898	△25,704	基本金	0	0	0
機械及び装置	628,331	778,584	△150,253	国庫補助金等特別積立金	205,084	228,084	△23,000
車輻運搬具	2	2	0	その他の積立金	2,516,580	2,516,580	0
器具及び備品	7	41,751	△41,744	工賃変動積立金	816,050	816,050	0
有形リース資産	0	210,600	△210,600	設備等整備積立金	1,700,530	1,700,530	0
工賃変動積立資産	816,050	816,050	0	次期繰越活動増減差額	13,134,842	10,055,287	3,079,555
設備等整備積立資産	1,700,530	1,700,530	0	(うち当期活動増減差額)	3,079,555	△7,420,111	10,499,666
				純資産の部合計	15,856,506	12,799,951	3,056,555
資産の部合計	17,914,961	15,120,851	2,794,110	負債及び純資産の部合計	17,914,961	15,120,851	2,794,110

ワークセンター ゆうゆう舎 事業報告 2017(H29)年度

(就労継続支援B型事業所)

1. 支援方針

- 1) 基本的な日常生活の習慣を養う。
- 2) 労働能力の開発及び能力に応じた作業指導。
- 3) 仲間を通して集団生活のきびしさと楽しさを体験させ、可能な限り本人の自主性による社会性の発達を促す。
- 4) 適切な健康管理。

2. 事業の総括

- 1) 平成29年度、ゆうゆう舎は開設27年目を迎えました。年度末利用者は定員20名に23名。平均年齢は40.3歳となった。

積極的に働くことによる社会参加を目的に運営されてきたが、高齢化の影響が作業にも現れてきている。前年同様に年齢とともにゆったりとした生産活動が適切な利用者が増え作業の在り方に対応が迫られている。全体として生活支援・家族支援の必要度がより高まっている。1日平均の利用者が20.8名。作業能力が全体として下がっており、今まで以上に支援が必要になっている。法人全体の事業見直しの中で検討を要する。

- 2) 生産活動は業務用ビデオテープのリサイクル事業中心で行われた。

ビデオ事業については開始20年となり、共に事業を進めてきた(株)ソニーの担当者、栃木県の(社福)希望の家の担当者も世代が変わってきている。

これまでと同様の連携をとるためにはゆうゆう舎側からの努力が必要となっている。

昨年は積極的に連絡会を提案、テレビ局からの作業所訪問。関係の強化に努めている。

ほか、ダイレクトメール作業など下請け作業、清掃などの委託事業は順調に行われた。

3. 重点目標に対する結果

- 1、利用者の人権と意思を大切に、就労支援を基本としながらも、健康で豊かな地域生活が送れるよう支援するという基本目標を掲げて取り組んだが、概ね順調に達成した。
 - 2、就労支援については、テレビ局の倉庫移転計画終了に伴い、ビデオテープリサイクルの量が徐々に減少。そのため、新規営業を行い、新たな受注作業を獲得し、収入を確保した。平成29年度も平年並みで昨年同等の工賃実績を維持し、目標工賃を達成した。
 - 3、生活支援においては、前年同様家庭での生活基盤の不安定による混乱が目立ってきている。一人暮らしやグループホーム入居者の支援に迫られた。関係者による支援ネットワークがより必要となっている。また、家族高齢化への対応が重要となってきた。
 - 4、健康管理、社会活動支援は計画にのっとりおおむね順調に行われた。
 - 5、4月より1名の利用者が新たに入所したが高齢化・重度化が顕著なため、周りの連携機関と協力し一人一人の利用者に合った支援に取り組む。
 - 6、全体として、作業以外の活動も増やし、落ち着いた環境の中でゆったりとした作業支援ができるように心がけた。この点を今後は更に重視していく必要がある。
- 年3期(夏休み前、年末、年度末)に分けて、利用者自身による自己評価を実施。また年2回の個別支援計画の見直し確認を行い、利用者の意思決定を尊重しながら支援を行った。

4. 利用者の状況

定員	20名	利用者実数	23名	退所	0名	入所	1名
----	-----	-------	-----	----	----	----	----

* 年齢・性別構成

	10代	20代	30代	40代	50代以上	計	平均年齢
男性	1	3	1	5	2	12	39.6
女性		1	5	4	1	11	41.1
計	1	4	6	9	3	23	40.3

* 障害の状況・愛の手帳

	1度	2度	3度	4度	なし	計
男性			7	5		12
女性		1	6	3	1	11
計		1	13	8	1	23

7. 職員の構成

管理者	1
職業指導員	2
生活支援員	3
その他の職員	1

8. 平成29年度運営実績 ()は28年度実績

開所日数：258日 (257)

1日平均利用者数：20.8人 (19.2人)

月平均工賃 25,195円 (25,296円)

(1) 作業内容

- ① 放送局での使用済みビデオテープのリサイクル事業
- ② ダイレクトメールの封入・封緘・発送
- ③ チラシ折り作業
- ④ 三鷹市公園の美化作業 (1ヶ所)
- ⑤ 民間アパートの清掃
- ⑥ 三鷹市資源ゴミ回収事業
- ⑦ 自主製品 (雑貨)

(2) 行事

月	主な行事内容
4月	入所式
5月	リフレッシュ活動 (出前)
6月	健康診断
7月	七夕
8月	社会見学 (造幣局)、三鷹阿波踊り、前期反省会
9月	スポーツの集い
10月	秋のレクリエーション
11月	宿泊 (ディズニーランド)、施設公開、歯科衛生講習会
12月	消防訓練、年末パーティー、障害者作品展
1月	新年 (餅つき、書初め)、法人新年会
2月	節分、還暦のお祝い会
3月	ひな祭り、年度末反省会、お花見 (仙川公園)

(4) 家族会など

○家族会：7月、11月、3月に開催 ○家族面談：6月～

○毎月のゆうゆう通信発行、作業所よりのお知らせ随時

(5) 職員会議ほか

職員会議：毎朝毎夕・職員ミーティング・個別支援計画会議、工賃検討会議

職員研修：育成会事業所連絡会・地域法人協議会研修

全日本事業所協議会研修大会、全日本育成会大会、他に法人研修7月、12月

(6) 災害対策

- ・12月に避難訓練、消火訓練を実施。自衛消防組織を編成し、通報連絡・初期消火・避難誘導・応急援護など災害時の緊急対応に備える訓練を行った。
- ・防災設備・自動火災報知機・消火器・避難誘導等・ガス漏れ報知機などの点検を行い、災害被害の拡大を防ぐことに努めた。
- ・災害時避難について、避難場所や引き渡しの確認を家族会や面談時に確認し、常に利用者の安全確保を図ることに努めた。また、緊急災害カードを配布し、1つを本人携帯用、2つ目を施設保管用として、家族との連絡方法の確保に努めた。
- ・常時服薬をしている薬を、緊急時用に施設にて保管し、古いものは更新した。
- ・災害時に必要な物品 (懐中電灯・ラジオ・救急セット・非常用食品など) を常備し、災害発生時に備えている。
- ・新川作業所が2次避難場所となっているため防災無線の設置を行なう。
- ・三鷹市による防災無線訓練を年4回行なう。

ゆうゆう舎拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収 入	就労支援事業収入	9,000,000	7,901,369	1,098,631	
	就労支援事業収入	9,000,000	7,871,681	1,128,319	
	就労支援事業収入(内部取引)	0	29,688	△29,688	
	障害福祉サービス等事業収入	45,391,000	48,432,315	△3,041,315	
	自立支援給付費収入	40,000,000	40,483,589	△483,589	
	訓練等給付費収入	40,000,000	40,483,589	△483,589	
	その他の事業収入	5,391,000	7,948,726	△2,557,726	
	補助金事業収入	5,391,000	7,405,000	△2,014,000	
	その他の事業収入	0	543,726	△543,726	
	受取利息配当金収入	0	630	△630	
	その他の収入	0	11,000	△11,000	
	受入研修費収入	0	5,000	△5,000	
	雑収入	0	6,000	△6,000	
	雑収入	0	6,000	△6,000	
	事業活動収入計(1)		54,391,000	56,345,314	△1,954,314
支 出	人件費支出	28,800,000	28,039,820	760,180	
	職員給料支出	16,000,000	16,769,531	△769,531	
	職員賞与支出	4,000,000	3,893,000	107,000	
	非常勤職員給与支出	5,100,000	2,935,275	2,164,725	
	退職給付支出	600,000	290,000	310,000	
	法定福利費支出	3,100,000	4,152,014	△1,052,014	
	事業費支出	3,250,000	3,699,027	△449,027	
	保健衛生費支出	90,000	94,076	△4,076	
	教養娯楽費支出	300,000	1,075,453	△775,453	
	本人支給金支出	1,400,000	1,040,000	360,000	
	水道光熱費支出	800,000	1,053,970	△253,970	
	消耗器具備品費支出	100,000	197,842	△97,842	
	保険料支出	230,000	31,855	198,145	
	賃借料支出	120,000	202,581	△82,581	
	教育指導費支出	10,000	0	10,000	
	車輛費支出	200,000	3,250	196,750	
	事務費支出	4,504,952	4,685,233	△180,281	
	福利厚生費支出	200,000	0	200,000	
	旅費交通費支出	200,000	62,540	137,460	
	研修研究費支出	130,000	47,780	82,220	
	事務消耗品費支出	300,000	254,469	45,531	
	修繕費支出	0	9,670	△9,670	
	通信運搬費支出	200,000	363,536	△163,536	
	会議費支出	10,000	4,000	6,000	
	手数料支出	0	20,412	△20,412	
	土地・建物賃借料支出	3,194,952	3,082,952	112,000	
	租税公課支出	10,000	21,100	△11,100	
	保守料支出	200,000	200,894	△894	
	渉外費支出	50,000	54,680	△4,680	
	諸会費支出	10,000	13,200	△3,200	
	雑支出	0	550,000	△550,000	
	雑支出	0	550,000	△550,000	
	就労支援事業支出	9,000,000	8,773,769	226,231	
就労支援事業販売原価支出	7,805,000	7,631,381	173,619		
就労支援事業製造原価支出	7,805,000	7,631,381	173,619		
就労支援事業販管費支出	1,195,000	1,142,388	52,612		
事業活動支出計(2)		45,554,952	45,197,849	357,103	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		8,836,048	11,147,465	△2,311,417	

ゆうゆう舎拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
施設整備等による収支	収				
	入				
		施設整備等収入計 (4)	0	0	0
	支	ファイナンス・リース債務の返済支出	210,000	53,235	156,765
施設整備等による収支	出				
		施設整備等支出計 (5)	210,000	53,235	156,765
		施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	△210,000	△53,235	△156,765
その他の活動による収支	収				
	入				
		その他の活動収入計 (7)	0	0	0
	支				
その他の活動による収支	出				
		その他の活動支出計 (8)	0	0	0
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0	
	予備費支出 (10)	0	—	0	
		△0			
	当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	8,626,048	11,094,230	△2,468,182	
	前期末支払資金残高 (12)	0	4,915,496	△4,915,496	
	当期末支払資金残高 (11)+(12)	8,626,048	16,009,726	△7,383,678	

ゆうゆう舎拠点区分 貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

	資 産 の 部		負 債 の 部	
	当年度末	前年度末	当年度末	前年度末
流動資産				
現金預金	17,858,365	11,304,273	3,302,204	7,485,273
事業未収金	10,099,007	3,400,876	1,041,360	300,105
拠点区分間貸付金	7,312,541	7,903,397	681,000	178,100
	446,817	0	0	212,940
			126,279	314,291
			0	5,596,281
			1,453,565	883,556
固定資産	2,660,766	3,575,216	0	106,470
基本財産	0	0	0	106,470
その他の固定資産	2,660,766	3,575,216	0	0
機械及び装置	555,674	741,331		
車輛運搬具	3	201,702		
器具及び備品	305,089	393,290		
有形リース資産	0	438,893		
工賃変動積立資産	1,100,000	1,100,000		
設備等整備積立資産	700,000	700,000		
			15,260,862	5,289,932
			9,970,930	△7,039,307
			純資産の部合計	7,287,746
資産の部合計	20,519,131	14,879,489	20,519,131	14,879,489
			負債及び純資産の部合計	9,929,181
				5,639,642
			負債の部合計	△4,183,069
			純資産の部	
			基本金	0
			国庫補助金等特別積立金	197,814
			その他の積立金	△41,749
			工賃変動積立金	0
			設備等整備積立金	0
			次期繰越活動増減差額	0
			(うち当期活動増減差額)	0
			純資産の部合計	7,287,746
			負債及び純資産の部合計	9,929,181
				5,639,642

ワークセンタータートルステップ事業報告 2017(H. 29)年度 (就労継続支援B型事業所)

1. 支援方針

- ・ 基本的な日常生活の習慣を養います。
- ・ 労働能力の開発及び能力に応じた作業支援を行います。
- ・ 仲間を通して集団生活のきびしさと楽しさの中から、可能な限り本人の自主性による社会性の発達を促します。
- ・ 適切な健康管理を行います。

2. 事業の総括

平成29年度は4月より特別支援学校卒業生が1名入所し、22名(男性16名・女性6名)で始まりました。(1月に1名生活介護事業への移行による退所あり、21名となる。) 新たな若手が入所したこともあり、そのエネルギーに触発されるように、利用者みな、元気に楽しく過ごすことができた1年となりました。

仕事(作業)に関しては、大きな変化なく、現状を維持。利用者の方々は徐々に年齢を重ねてきており、高齢化による作業効率の減少も見られますが、受注量に大きな変化なく取り組むことができました。

余暇活動では、年度途中に、エクササイズから音楽リズムへの活動変更がありました。アートの時間含め、楽しく活動を継続することができ、作業以外の利用者の心身のケアを含め、生活安定を図りました。

職員の異動等もありましたが、その状況下の中でも、利用者の方々は安定した活動を継続することができています。

3. 重点目標に対する結果

平成28年度に受けた第三者評価の指摘(本人の意思決定を中心にした個別支援計画書の作成が求められたこと)をもとに、個別支援計画の見直しを行い、利用者の意思決定支援を中心に、新たな書式を作成、実施しました。意思を伝えにくい利用者からも日々の生活の様子や気持ちの聞き取りをしながら、自らの目標が本人の思いの下、立てられるよう工夫しました。また、法人統一の書式を作成に伴い、参照とし、平成30年度からの統一書式での個別支援計画実施へ向け、年度末に面談・聞き取りを行いました。

生産活動については、作業の細分化、特性に配慮しながら、安定した受注活動に努めることができています。

健康管理については、健康診断・歯科検診を行い、また通院先や服薬把握、体重などの変化を月ごとに計測し、健康状態の把握に努めました。

地域との交流については、施設公開や阿波踊りへの参加、リサイクル事業での交流を行いながら、活動を進めてきました。

年度当初の目標に向けて、継続的に活動が行えました。

4. 利用者の状況

平成30年3月31日現在

定員 20名	利用者実数 21名	退所 1名	入所 1名
--------	-----------	-------	-------

* 年齢・性別構成

	30歳未満	30代	40代	50代	60才以上	計	平均年齢
男性	5	6	2		2	15	35才
女性	2	1		2	1	6	42才
計	7	7	2	2	3	21	39才

* 障害の状況・愛の手帳

	1度	2度	3度	4度	なし	計
男性		8	5	2		15
女性		1	2	3		6
計		9	7	5		21

* 生活状況

グループホーム利用者：3名(男) 1名(女) 単身者：2名(男)

5. 職員の構成

管理者	1名
職業指導員	2名
生活支援員	1名
その他の職員	2名

6. 平成29年度運営実績 () 内前年度

開所日数：258日 (258) 年間延べ利用人数：5,147人 (4,960)
 1日平均利用者数：19.5人(19.7) 月平均工賃1人 13,603円(13,831)

(1) 作業内容

- ①DM ②清掃作業 ③食品用パックシール貼り ④ショッピングバック作成
 ⑤チラシ折り作業 ⑥リサイクル作業 ⑦自主製品販売

(2) 行 事

月	行 事
4月	歓迎会 土曜開所(カラオケ・お茶会)
5月	健康診断 食事会 土曜開所(井の頭公園散策)
6月	買い物 食事会
7月	食事会 土曜開所(スイーツ作り・津軽三味線鑑賞)
8月	暑気払い 三鷹阿波踊り 土曜開所(科学実験)
9月	スポーツの集い、歯科講習会 土曜開所(カラオケ)
10月	宿泊旅行 法人秋のレクレーション 土曜開所(スポーツちゃんばら・ダンス)
11月	施設公開 外食 土曜開所(井の頭動物園散策)
12月	ファミリークリスマス会 障がい者作品展 土曜開所(三鷹オルゴール館見学)
1月	新年会 法人新年会 土曜開所(お正月遊び・料理作り)
2月	節分 土曜開所(ひなまつり)
3月	歯科検診 日帰り旅行 土曜開所(ボッチャ)

月2回音楽リズム(月1回エクササイズ)・アートの日 その他、誕生日会(2ヵ月に1回)、季節の行事

(3) 家族会など

家族会：4月・10月に開催 個別面談実施
 個別要望に応じ連絡帳の利用 作業所より通知等でのお知らせ随時

(4) 職員会議

毎朝・夕

(5) 実習生受け入れ

府中けやきの森学園 0名
 鷹ロコネットワーク実習生受け入れ、他見学

(6) 職員研修

はなゆめ研修、育成会、東京都

(7) 災害対策

- ・防災訓練 消防署立ち合い(11月) 自主訓練(毎月)
- ・災害対策マニュアル
- ・災害緊急カード

タートルステップ拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
収入	就労支援事業収入	4,500,000	3,842,148	657,852		
	就労支援事業収入	4,500,000	3,651,648	848,352		
	就労支援事業収入(内部取引)	0	190,500	△190,500		
	障害福祉サービス等事業収入	40,000,000	45,917,711	△5,917,711		
	自立支援給付費収入	33,000,000	40,677,449	△7,677,449		
	訓練等給付費収入	33,000,000	40,677,449	△7,677,449		
	利用者負担金収入	110,000	0	110,000		
	その他の事業収入	6,890,000	5,240,262	1,649,738		
	補助金事業収入	6,890,000	4,446,000	2,444,000		
	その他の事業収入	0	794,262	△794,262		
	経常経費寄附金収入	295,000	210,000	85,000		
	受取利息配当金収入	0	345	△345		
	その他の収入	0	13,500	△13,500		
	雑収入	0	13,500	△13,500		
	雑収入	0	13,500	△13,500		
		事業活動収入計(1)	44,795,000	49,983,704	△5,188,704	
事業活動による収支	支出	人件費支出	27,250,000	18,575,849	8,674,151	
		職員給料支出	15,300,000	9,353,227	5,946,773	
		職員賞与支出	3,500,000	1,903,500	1,596,500	
		非常勤職員給与支出	5,000,000	4,451,008	548,992	
		退職給付支出	450,000	267,000	183,000	
		法定福利費支出	3,000,000	2,601,114	398,886	
		事業費支出	2,800,000	3,605,028	△805,028	
		保健衛生費支出	100,000	88,078	11,922	
		教養娯楽費支出	500,000	1,117,083	△617,083	
		本人支給金支出	800,000	1,019,540	△219,540	
		水道光熱費支出	500,000	669,562	△169,562	
		消耗器具備品費支出	0	378,792	△378,792	
		保険料支出	300,000	91,030	208,970	
		賃借料支出	350,000	106,920	243,080	
		教育指導費支出	50,000	108,587	△58,587	
		車両費支出	200,000	25,436	174,564	
	事務費支出	2,600,000	3,061,975	△461,975		
	福利厚生費支出	200,000	6,070	193,930		
	職員被服費支出	0	9,720	△9,720		
	旅費交通費支出	30,000	18,222	11,778		
	研修研究費支出	100,000	35,755	64,245		
	事務消耗品費支出	150,000	166,774	△16,774		
	修繕費支出	0	115,046	△115,046		
	通信運搬費支出	167,117	185,722	△18,605		
	会議費支出	10,000	9,792	208		
	手数料支出	50,000	27,324	22,676		
	土地・建物賃借料支出	1,752,883	1,776,888	△24,005		
	租税公課支出	0	76,900	△76,900		
	保守料支出	100,000	158,746	△58,746		
	渉外費支出	20,000	13,740	6,260		
	諸会費支出	20,000	16,100	3,900		
	雑支出	0	445,176	△445,176		
	雑支出	0	445,176	△445,176		
	就労支援事業支出	4,500,000	4,178,727	321,273		
	就労支援事業販売原価支出	4,200,000	3,874,184	325,816		
	就労支援事業製造原価支出	4,200,000	3,874,184	325,816		
就労支援事業販管費支出	300,000	304,543	△4,543			

タートルステップ拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	事業活動支出計 (2)	37,150,000	29,421,579	7,728,421	
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	7,645,000	20,562,125	△12,917,125	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	支出				
	施設整備等支出計 (5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支	収入				
	積立資産取崩収入	0	153,600	△153,600	
	工賃変動積立資産取崩収入	0	153,600	△153,600	
	その他の活動収入計 (7)	0	153,600	△153,600	
	支出				
拠点区分間繰入金支出	0	14,000,000	△14,000,000		
	その他の活動支出計 (8)	0	14,000,000	△14,000,000	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	△13,846,400	13,846,400	
	予備費支出 (10)	0	—	0	
		△0			
	当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	7,645,000	6,715,725	929,275	
	前期末支払資金残高 (12)	0	7,363,511	△7,363,511	
	当期末支払資金残高 (11)+(12)	7,645,000	14,079,236	△6,434,236	

タートルステップ拠点区分 貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	14,796,979	8,374,656	6,422,323	流動負債	1,589,882	2,184,362
現金預金	7,512,775	1,769,122	5,743,653	事業未払金	338,190	733,548
事業未収金	6,656,092	6,077,008	579,084	その他の未払金	291,000	87,170
商品・製品	0	9,450	△9,450	職員預り金	88,553	180,977
拠点区分間貸付金	628,112	519,076	109,036	賞与引当金	872,139	1,182,667
固定資産	1,997,851	2,726,079	△728,228	固定負債	0	0
基本財産	0	0	0	負債の部合計	1,589,882	2,184,362
その他の固定資産	1,997,851	2,726,079	△728,228	純 資 産 の 部		
建物	0	47,288	△47,288	基本金	0	0
機械及び装置	244,176	325,758	△81,582	国庫補助金等特別積立金	282,917	525,417
車輜運搬具	394,427	732,508	△338,081	その他の積立金	1,246,400	1,400,000
器具及び備品	112,848	220,525	△107,677	工賃変動積立金	646,400	800,000
工賃変動積立資産	646,400	800,000	△153,600	設備等整備積立金	600,000	600,000
設備等整備積立資産	600,000	600,000	0	次期繰越活動増減差額	13,675,631	6,990,956
				(うち当期活動増減差額)	6,531,075	△1,493,743
				純資産の部合計	15,204,948	8,916,373
資産の部合計	16,794,830	11,100,735	5,694,095	負債及び純資産の部合計	16,794,830	11,100,735
						6,288,575
						5,694,095

わたしたちのいえかごめかごめ事業報告 2017 (29年度)

(多機能型生活介護事業所)

1. 支援方針

- 1) 基本的な日常生活の習慣を養う。
- 2) 身体機能の低下を防ぐための訓練を行う。
- 3) 生産活動の機会の提供をし、工賃を支払う。
- 4) 利用者の人権と意思を尊重し、グループ分けによる就労支援も行いながら、健康で豊かな地域生活が送れるよう支援する。
- 5) 適切な健康管理。

2. 事業の総括

H29年度は、多機能事業所からの分離独立を目指して準備の年、利用者1名退所2名入所、職員の入替えもあり、あわただしくもあったが、利用者状況は比較的安定した落ち着いた一年であった。

3. 重点項目に対する結果

生活介護事業そのものの細やかな配慮を心がけ、障害の違いがあっても対応できるプログラムの組み方を工夫することに重点を置いた。

1. 基本的な日常生活の習慣を養う。

毎日同じ時間に通所するというリズムが難しい方も家庭、つなぐ手、市ケースワーカー等と連携を取り何とか通えるようになり、休む方も少なくなる。病院から直接通所される方の体調管理等今後把握していく必要がある。

2. 身体機能の低下を防ぎやる気を引き出すよう為の製作活動ができるような課題の提供をする。

加齢とともに体力・機能維持の面で非常に厳しい方もあり、理学療法士が来られなかったり、ローテーションに入れられなかったりすることが増え、他事業所とも連携を取りながら、身体機能維持を目指せる方向を重視し、他の社会資源につなげて訓練のみ他へ通うことになった方がいる。

3. 仲間を通して集団生活の楽しさと厳しさを体験させ、可能な限り本人の自主性による社会性の発達を促すコミュニケーション手段を確立する。

気心が知れて仲良くなりつつある方たちのもめごとが増えた一年だった。些細な事であるが、一つ一つ不安を取り除き、安心して仲良く過ごせる空間となるよう努力した。

4. 適切な健康管理

希望者には保健所による健康診断を行い、主治医がいる方については、通院による健康管理をお願いし、個々の障害特性による適切だと思われる健康管理を行った。

5. 生産活動の機会の提供をし、工賃を支払います

生産活動は宅配飲食店のお手元セットを中心に行いました。更に自主製品が売れるようになり、星風マートなどに参加し、人と触れ合いながら販売する機会を設け、障害の違いを超えて理解し、協力し合える仲間として日々穏やかに過ごすことを心がけました。

4. 利用者の状況

定員	10名	利用者実数	11名	退所1名	入所2名
----	-----	-------	-----	------	------

* 年齢・性別構成

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	計	平均年齢
男性	0	0	0	1	2	0	3	46
女性	0	0	2	1	4	1	8	44.5
計	0	0	2	2	6	1	11	45.5

* 障害の状況・愛の手帳

身体障害		1度	2度	3度	4度	なし	計
	1級	1					1
	2級		1				1
	3級以下			1		1	2
	なし		1	3	3		7
計			2	4	3	1	11

5. 職員の構成

管理者	1名
サービス管理責任者	1名
生活支援員	7名
嘱託医	1名
非常勤看護師	1名

6. 平成29年度運営実績 ()は28年度実績

開所日数： 239日 (243日) 年間延べ利用人数：2,346人 (2,130人)

一日平均利用者数：9.5人 (8.7人) 月平均工賃 1,500円 (1,622円)

(1) 作業内容

- ① 製作活動 (多種材料で小物づくり、事業所内の協同物作り)
- ② 作業 (宅配飲食店のお手元セット、人形焼の包装材の組み立て・詰め作業)
- ③ 販売活動 (人形焼、自主製品)

(2) 行事

月	行事
4月	お花見 家族会
5月	母の日 BBQ 誕生会
6月	父の日 外食
7月	七夕 誕生会
8月	ブルーベリー狩り
9月	お月見 外食
10月	ハロウィン 宿泊訓練 (伊豆)
11月	誕生会 星風マート キウイ狩り
12月	障がい者PR 忘年会 施設公開
1月	初詣 新年会 書初
2月	節分 パレンタイン 誕生会
3月	誕生会 館外学習 (浅草)

(3) 家族会など

家族会： 4月に開催

個人面談： 随時

個別の要望に応じて連絡帳交換

事業所より随時通知発信

(4) 職員会議

毎朝・夕：職員ミーティング、月1回職員会議

(5) 実習生受け入れ

法人内職員実習

(6) 職員研修

育成会常勤研修・はなゆめ研修他

(7) 緊急時・災害対策について

年2回実践避難訓練を行う

わたしたちのいえ かがめかがめ拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位: 円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考	
収入	就労支援事業収入	700,000	722,040	△22,040		
	就労支援事業収入	700,000	687,839	12,161		
	就労支援事業収入(内部取引)	0	34,201	△34,201		
	障害福祉サービス等事業収入	21,500,000	23,338,732	△1,838,732		
	自立支援給付費収入	20,000,000	20,694,855	△694,855		
	介護給付費収入	20,000,000	20,694,855	△694,855		
	その他の事業収入	1,500,000	2,643,877	△1,143,877		
	補助金事業収入	1,500,000	2,400,000	△900,000		
	その他の事業収入	0	243,877	△243,877		
	受取利息配当金収入	0	153	△153		
	その他の収入	0	9,900	△9,900		
	雑収入	0	9,900	△9,900		
	雑収入	0	9,900	△9,900		
	事業活動収入計(1)		22,200,000	24,070,825	△1,870,825	
事業活動による収支	支出	人件費支出	20,740,000	21,651,128	△911,128	
		職員給料支出	14,000,000	12,908,580	1,091,420	
		職員賞与支出	2,500,000	2,684,000	△184,000	
		非常勤職員給与支出	2,000,000	2,966,256	△966,256	
		退職給付支出	240,000	296,670	△56,670	
		法定福利費支出	2,000,000	2,795,622	△795,622	
		事業費支出	1,700,000	1,944,969	△244,969	
		保健衛生費支出	15,000	28,143	△13,143	
		教養娯楽費支出	330,000	433,086	△103,086	
		日用品費支出	0	2,479	△2,479	
		本人支給金支出	60,000	52,000	8,000	
		水道光熱費支出	630,000	702,681	△72,681	
		消耗器具備品費支出	50,000	106,954	△56,954	
		保険料支出	200,000	58,620	141,380	
		賃借料支出	100,000	23,976	76,024	
		教育指導費支出	15,000	69,694	△54,694	
		車輛費支出	300,000	467,336	△167,336	
		事務費支出	5,960,000	6,823,959	△863,959	
		福利厚生費支出	100,000	22,770	77,230	
		旅費交通費支出	40,000	6,280	33,720	
	研修研究費支出	100,000	11,530	88,470		
	事務消耗品費支出	200,000	288,205	△88,205		
	修繕費支出	0	596,460	△596,460		
	通信運搬費支出	150,000	268,395	△118,395		
	会議費支出	10,000	936	9,064		
	手数料支出	20,000	21,924	△1,924		
	土地・建物賃借料支出	5,220,000	5,400,000	△180,000		
	租税公課支出	0	27,500	△27,500		
	保守料支出	100,000	121,018	△21,018		
	渉外費支出	20,000	33,321	△13,321		
	諸会費支出	0	23,000	△23,000		
	雑支出	0	2,620	△2,620		
	雑支出	0	2,620	△2,620		
	就労支援事業支出	600,000	583,501	16,499		
	就労支援事業販売原価支出	600,000	524,400	75,600		
	就労支援事業製造原価支出	600,000	524,400	75,600		
	就労支援事業販管費支出	0	59,101	△59,101		
	事業活動支出計(2)		29,000,000	31,003,557	△2,003,557	
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△6,800,000	△6,932,732	132,732	

わたしたちのいえ かごめかごめ拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
施設整備等による収支	収 施設整備等補助金収入	0	360,000	△360,000	
	収 施設整備等補助金収入	0	360,000	△360,000	
	収 施設整備等収入計 (4)	0	360,000	△360,000	
	支 固定資産取得支出	0	452,520	△452,520	
	支 器具及び備品取得支出	0	452,520	△452,520	
	施設整備等支出計 (5)	0	452,520	△452,520	
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	△92,520	92,520	
その他の活動による収支	収				
	収 その他の活動収入計 (7)	0	0	0	
	支				
	支 その他の活動支出計 (8)	0	0	0	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0	
	予備費支出 (10)	0	—	0	
		△0			
	当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△6,800,000	△7,025,252	225,252	
	前期末支払資金残高 (12)	0	△6,592,822	6,592,822	
	当期末支払資金残高 (11)+(12)	△6,800,000	△13,618,074	6,818,074	

わたしたちのいえ かごめかごめ拠点区分 貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部			負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	11,960,202	5,499,638	6,460,564	26,473,943	12,764,527	13,709,416
現金預金	8,098,929	1,920,878	6,178,051	401,384	219,348	182,036
事業未収金	3,594,088	3,444,160	149,928	0	21,270	△21,270
原材料	267,185	134,600	132,585	682	0	682
				80,611	167,970	△87,359
				24,828,414	11,549,272	13,279,142
				1,162,852	806,667	356,185
固定資産	5,651,445	6,266,925	△615,480	0	0	0
基本財産	0	0	0	26,473,943	12,764,527	13,709,416
その他の固定資産	5,651,445	6,266,925	△615,480	負債の部合計		
建物	2,585,046	2,982,745	△397,699	0	0	0
機械及び装置	2,145,296	2,580,572	△435,276	1,813,574	1,719,542	94,032
車輛運搬具	401,297	603,152	△201,855	0	0	0
器具及び備品	519,806	100,456	419,350	△10,675,870	△2,717,506	△7,958,364
				△7,958,364	△8,796,156	837,792
				△8,862,296	△997,964	△7,864,332
資産の部合計	17,611,647	11,766,563	5,845,084	17,611,647	11,766,563	5,845,084
				純資産の部		
				0	0	0
				1,813,574	1,719,542	94,032
				0	0	0
				△10,675,870	△2,717,506	△7,958,364
				△7,958,364	△8,796,156	837,792
				△8,862,296	△997,964	△7,864,332
				17,611,647	11,766,563	5,845,084
				負債及び純資産の部合計		

障がい者相談センターつなぐ手 事業報告 2017(H29)年度

(指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業)

1. 支援方針

知的障がいをはじめとした障がい者（児）が安全・安心して地域生活を継続する為には、地域における充実した相談支援体制の整備・地域資源の開発等が重要であり、「社会福祉法人はなゆめ」としてもこれらに努めていくことが必要といえます。その為には、必要な情報や課題を整理しながら、地域の親の会や関係機関と連携を図り、相談支援事業の展開を検討していく必要があります。

また、事業実施過程で事業継続に行政の支援が不可欠と思われる部分については、国・都ならびに市に対して、相談支援事業体制の整備に必要な支援や制度改正を自立支援協議会等の場に法人として求めていきます。

2. 事業の総括

平成24年10月より事業を開設してから6年目を迎えた。開設当初は相談支援事業所の数が少ない中、主に知的に障がいのある方の相談支援事業所として先駆者として活動をし、当法人を利用している方を中心に利用計画の作成を始め、現在では徐々に計画相談の浸透がされてきている。29年度の計画作成数は174名で、当法人の利用者が91名、他法人が45名、児童38名となっている。昨年度より10名程利用者数を増やしたが、平成30年度の報酬改定では、相談支援専門員一人あたりの1ヶ月の相談件数の目安が1ヶ月で35件という基準が設けられることもあり、相談支援専門員が1名の当事業所では、利用者数の増加に対応する事が難しくなっている。

今後、ご本人やご家族の高齢化により、生活の場や日中活動の内容などの見直しを必要とする方も多くなると予想されるため、希望する生活に近づけるように対応をしていくことが課題となっているとおもわれる。

また以前よりあげている内容の一つとして、利用計画を作成し市役所による支給決定が出なくては、請求がかけられないので、運営の見通しが立てづらいことに変化はなく、課題として残っている。

安定した運営を進めて行くためには、相談支援事業体制の整備、制度改正なども含め、行政機関との連携、関係機関との連携が今後も必要不可欠となっている。

3. 利用者の状況

* 年齢・性別構成

	児童	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計	平均年齢
男性	32	2	25	21	21	8	7	116	22.5
女性	6	0	12	13	12	10	5	58	40.0
計	38	2	37	34	33	18	12	174	31.3

4. 職員の構成

管理者	1名	
相談支援専門員	1名	
事務員	1名	5月より産休・育休より復帰

5. 平成 29 年度運営実績 () 内前年度

開所日数：245 日 (241) 年間延べ利用数：745 人 (760 人)

一日平均利用者数：3.0 人 (3.1 人)

(1) 支援内容

- ① サービス等利用計画案の作成
- ② サービス等利用計画の作成
- ③ サービス担当者支援会議の実施
- ④ モニタリングの実施・作成

(2) 三鷹市相談支援事業所連絡会に年 6 回参加

(3) 相談支援専門員 現任研修

(4) 職員研修

はなグループ職員研修 育成会研修 三鷹市研修

障がい者相談センター つなぐ手拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入	障害福祉サービス等事業収入	5,000,000	7,327,470	△2,327,470	
	自立支援給付費収入	5,000,000	5,405,962	△405,962	
	計画相談支援給付費収入	5,000,000	5,405,962	△405,962	
	障害児施設給付費収入	0	1,921,508	△1,921,508	
	障害児相談支援給付費収入	0	1,921,508	△1,921,508	
	受取利息配当金収入	0	173	△173	
	事業活動収入計 (1)	5,000,000	7,327,643	△2,327,643	
事業活動による収支	人件費支出	3,700,000	5,219,952	△1,519,952	
	職員給料支出	2,000,000	2,627,255	△627,255	
	職員賞与支出	1,000,000	597,500	402,500	
	非常勤職員給与支出	0	1,141,380	△1,141,380	
	退職給付支出	120,000	248,828	△128,828	
	法定福利費支出	580,000	604,989	△24,989	
	事業費支出	200,000	150,173	49,827	
	水道光熱費支出	50,000	69,173	△19,173	
	消耗器具備品費支出	75,000	0	75,000	
	賃借料支出	75,000	81,000	△6,000	
	事務費支出	1,500,000	1,430,967	69,033	
	福利厚生費支出	20,000	1,750	18,250	
	旅費交通費支出	20,000	3,222	16,778	
	研修研究費支出	30,000	3,600	26,400	
	事務消耗品費支出	100,000	51,435	48,565	
	修繕費支出	0	2,580	△2,580	
	通信運搬費支出	130,000	108,797	21,203	
	会議費支出	0	167	△167	
	手数料支出	0	19,872	△19,872	
	土地・建物賃借料支出	1,200,000	1,200,000	0	
保守料支出	0	39,544	△39,544		
事業活動支出計 (2)	5,400,000	6,801,092	△1,401,092		
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	△400,000	526,551	△926,551		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0	
	支出				
施設整備等支出計 (5)	0	0	0		
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	0	0		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計 (7)	0	0	0	
	支出				
その他の活動支出計 (8)	0	0	0		
その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	0	0		
予備費支出 (10)	0	—	0		
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△400,000	526,551	△926,551		
前期末支払資金残高 (12)	0	△2,495,368	2,495,368		
当期末支払資金残高 (11)+(12)	△400,000	△1,968,817	1,568,817		

障がい者相談センター つなぐ手拠点区分 貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
	当年度末	前年度末	増 減		当年度末	前年度末	増 減
流動資産	4,374,783	2,808,948	1,565,835	流動負債	6,634,313	6,010,094	624,219
現金預金	3,359,229	1,968,470	1,390,759	事業未払金	118,738	0	118,738
事業未収金	1,015,554	840,478	175,076	職員預り金	42,210	51,729	△9,519
				拠点区分間借入金	6,182,652	5,252,587	930,065
				賞与引当金	290,713	705,778	△415,065
固定資産	32,922	49,438	△16,516	固定負債	0	0	0
基本財産	0	0	0	負債の部合計	6,634,313	6,010,094	624,219
その他の固定資産	32,922	49,438	△16,516	純 資 産 の 部			
器具及び備品	32,922	49,438	△16,516	基本金	0	0	0
				国庫補助金等特別積立金	0	0	0
				その他の積立金	0	0	0
				次期繰越活動増減差額	△2,226,608	△3,151,708	925,100
				(うち当期活動増減差額)	925,100	△1,917,939	2,843,039
				純資産の部合計	△2,226,608	△3,151,708	925,100
資産の部合計	4,407,705	2,858,386	1,549,319	負債及び純資産の部合計	4,407,705	2,858,386	1,549,319

まあーる事業報告 2017(H. 29)年度
(放課後等デイサービス事業所)

1. 支援方針

- ・児童の受け入れを強化し、収入増を目指します。
- ・コミュニケーション能力の支援及び、家族を支援します。
- ・個別支援計画に基づいた支援を行います。
- ・適切な健康管理を行います。
- ・地域との関わりを大切にします。
- ・基本的な日常生活の習慣を支援します。
- ・職員の連携強化に努めます。

2. 事業の総括

放課後等デイサービス「まあーる」は利用児童登録数も24名に増え、地域での事業運営も安定し、また必要とされている事業であることがうかがえました。また、法人として職員の研修を通じてお子様の療育歴を身近に感じることで、スキルアップを目指してきました。法人事業の拠点としての課題は、児童の継続的な確保と共に職員の育成を行っていく必要性があり、その基本をしっかりと見据えることで、通所される児童の皆さんが明るく健やかな場として「まあーる」を利用し、ご家族が安心して療育に取り組める環境を提供していく必要性を感じた年度でもありました。

3. 重点目標に対する結果

- (1) 児童の受け入れを強化し、収入増を目指します。
ご家族の不安や希望を職員全員が傾聴して児童の特性を理解し、ここに通わせたいと思える事業所を目指しました。
- (2) 基本的な日常生活の習慣を養う。
児童の皆さんが放課後の活動に合わせて通所し、毎日の生活のリズムを壊すことなく活動することができました。
- (3) 家族と関係機関との連絡調整
家族が児童の将来への不安を傾聴して見通しを説明したり、行政が開催する連絡会に参加し問題提起等を行いました。
- (4) 活動を通して、地域との交流をはかる。
支援の一環としての散歩を通じて地域の人達への挨拶等を通じ交流や施設への見学を通して事業の紹介を行いました。

4. 利用者の状況 平成30年3月31日現在

定員 10名	利用者実数 24名	退所 0名	入所 5名
--------	-----------	-------	-------

* 年齢・性別構成

	10代未満	10～15	16～18	計	平均年齢
男子	11	3	2	16	8.9才
女子	4	4	0	8	10.5才
計	15	7	2	24	9.6才

* 障害の状況・療育手帳

	1度	2度	3度	4度	なし	計
男性	0	4	7	3	2	16
女性	0	2	5	0	1	8
計	0	6	12	3	3	24

5. 職員の構成

管理者・児発管	1名(兼任)
保育士・児童指導員	2名

障害福祉経験指導員	2名
その他の職員	3名

6. 平成29年度運営実績 () 内前年度

開所日数：261日 (187) 年間延べ利用人数：2,001人 (969)

1日平均利用者数：7.5人(5.2)

(1) 行事

月	行事
4月	家族面談 プログラム 散歩
5月	家族面談 プログラム 散歩
6月	プログラム 散歩
7月	外出 (町田リス園) プログラム 散歩
8月	プログラム 散歩 (公園等)
9月	プログラム 散歩 (公園等)
10月	プログラム 散歩 (公園等)
11月	外出 (青梅花木園) プログラム 散歩
12月	プログラム 散歩 (公園等) クリスマス会
1月	餅つき プログラム 散歩 (公園等)
2月	プログラム 散歩 (公園等)
3月	外出 (星と森と絵本の家) プログラム 散歩

プログラム (運動 オイリュトミー ラフターヨガ 臨床美術 音楽)

(2) 家族会など

- ・ 家族・児童個人面談
- ・ 連絡帳の利用 ・ 事業所より通知等でのお知らせ随時

(3) 職員会議 ・ 毎朝・夕

(4) 実習生・見学受け

- ・ 児童見学随時受付
- ・ 鷹ロコネットワーク大学 3名

(5) 職員研修

- ・ はなグループ2、他2

(6) 災害対策

- ・ 防災訓練
- ・ 災害対策マニュアル
- ・ 災害備蓄品 災害用として、手動発電ライト・ラジオなどの物品や飲料水
ペットボトル、非常食を備蓄している。

まあーる拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	障害福祉サービス等事業収入	27,000,000	22,616,124	4,383,876	
	障害児施設給付費収入	27,000,000	21,449,671	5,550,329	
	障害児通所給付費収入	27,000,000	21,449,671	5,550,329	
	利用者負担金収入	0	946,353	△946,353	
	特定費用収入	0	220,100	△220,100	
	受取利息配当金収入	0	212	△212	
	事業活動収入計 (1)	27,000,000	22,616,336	4,383,664	
	支出				
	人件費支出	19,000,000	19,669,963	△669,963	
	職員給料支出	11,500,000	8,502,793	2,997,207	
	職員賞与支出	1,700,000	1,814,000	△114,000	
	非常勤職員給与支出	4,160,000	6,620,488	△2,460,488	
	退職給付支出	240,000	200,000	40,000	
	法定福利費支出	1,400,000	2,532,682	△1,132,682	
	事業費支出	2,500,000	2,022,654	477,346	
	給食費支出	100,000	206,987	△106,987	
	教養娯楽費支出	500,000	941,317	△441,317	
	水道光熱費支出	250,000	221,433	28,567	
	消耗器具備品費支出	1,000,000	64,770	935,230	
保険料支出	0	72,950	△72,950		
賃借料支出	150,000	138,834	11,166		
車輛費支出	500,000	376,363	123,637		
事務費支出	5,500,000	4,582,050	917,950		
福利厚生費支出	50,000	16,065	33,935		
職員被服費支出	30,000	4,670	25,330		
旅費交通費支出	50,000	61,230	△11,230		
研修研究費支出	60,000	47,890	12,110		
事務消耗品費支出	680,000	181,142	498,858		
印刷製本費支出	20,000	0	20,000		
修繕費支出	110,000	0	110,000		
通信運搬費支出	160,000	121,534	38,466		
会議費支出	20,000	537	19,463		
手数料支出	70,000	29,276	40,724		
土地・建物賃借料支出	4,000,000	3,888,000	112,000		
租税公課支出	110,000	85,000	25,000		
保守料支出	120,000	143,206	△23,206		
渉外費支出	20,000	3,500	16,500		
事業活動支出計 (2)	27,000,000	26,274,667	725,333		
事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	0	△3,658,331	3,658,331		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等補助金収入	0	1,650,000	△1,650,000	
	施設整備等補助金収入	0	1,650,000	△1,650,000	
	施設整備等収入計 (4)	0	1,650,000	△1,650,000	
	支出				
	固定資産取得支出	0	2,455,140	△2,455,140	
車輛運搬具取得支出	0	2,341,860	△2,341,860		
器具及び備品取得支出	0	113,280	△113,280		
施設整備等支出計 (5)	0	2,455,140	△2,455,140		
施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	0	△805,140	805,140		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計 (7)	0	0	0	
	支出				
その他の活動による支出	0	10,520	△10,520		
長期前払費用支出	0	10,520	△10,520		

まあーる拠点区分 資金収支計算書

(自) 平成 29年 4月 1日 (至) 平成 30年 3月 31日

(単位：円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
その他の活動による収支	支出				
	その他の活動支出計 (8)	0	10,520	△10,520	
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	0	△10,520	10,520	
予備費支出 (10)		0 △0	—	0	
当期資金収支差額合計 (11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	△4,473,991	4,473,991	
前期末支払資金残高 (12)		0	△4,101,376	4,101,376	
当期末支払資金残高 (11)+(12)		0	△8,575,367	8,575,367	

まあーる拠点区分 貸借対照表

平成 30年 3月 31日 現在

(単位：円)

	資 産 の 部			負 債 の 部		
	当年度末	前年度末	増 減	当年度末	前年度末	増 減
流動資産	9,216,507	6,160,050	3,056,457	18,373,300	10,428,093	7,945,207
現金預金	5,582,674	1,637,484	3,945,190	445,135	443,330	1,805
事業未収金	3,633,833	4,522,566	△888,733	51,132	154,982	△103,850
				17,295,607	9,663,114	7,632,493
				581,426	166,667	414,759
固定資産	4,047,410	2,146,132	1,901,278	0	0	0
基本財産	0	0	0	18,373,300	10,428,093	7,945,207
その他の固定資産	4,047,410	2,146,132	1,901,278			
車輜運搬具	3,919,305	2,135,522	1,783,783	0	0	0
器具及び備品	106,975	0	106,975	2,807,749	1,561,470	1,246,279
長期前払費用	0	10,610	△10,610	0	0	0
その他の固定資産	21,130	0	21,130	△7,917,132	△3,683,381	△4,233,751
				△4,233,751	△3,683,381	△550,370
				純資産の部合計	△2,121,911	△2,987,472
資産の部合計	13,263,917	8,306,182	4,957,735	13,263,917	8,306,182	4,957,735
				負債及び純資産の部合計		

監査報告書

平成30年5月28日

社会福祉法人 はなゆめ

理事長 鳥居 佳子 殿

監事 秋山 輝美



監事 高山 由美子



私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの平成29年度の理事の職務の執行について監査を行いました。その方法及び結果について、次の通り報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方法により、当該会計年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該会計年度に係る計算関係書類（計算書類及びその附属明細書）及び財産目録について検討しました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果

計算関係書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

以上